

評価の観点	外国語表現の能力	単元	Lesson6 My family (1年生)	実践日時	R1年度
本時のねらい	他人のことを詳しく伝えるために三人称単数現在形の否定文が有効であることに気づき、他人が日頃することや好きなことだけでなく好きではないことまで紹介することができる。				

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

導入

【手立て①：やり取りの中で目的や場面、状況を捉えさせる】

・導入部分では、生徒が目的や場面、状況を捉えられるような工夫を行っていく。目的を達成するために本時の活動があるという必然を生み出すためである。まず、JTEとALTが会話を始め、少しずつ生徒も巻き込んで対話を進める。そうすることで、生徒は本時の課題の目的や場面、状況を理解することができ、生徒とともに、「ALTの先生が学校の先生達ともっと仲良くなれるように、先生の名前や好きなもの、趣味などを含めて、先生のことを紹介しよう。」という課題を設定することができた。



展開

【手立て②：対話を継続・発展させるための段階的な指導の在り方】

・展開前段では、課題達成に向け話し始めた生徒を机間指導する。その中で、接続詞 but や and を用いて詳しい紹介をしようとする生徒の姿を認めて広める。また、相手の発言を繰り返すことができている生徒を認めた上で、さらに質問できるよう促す。展開後段では、そうして広めた表現や内容をどの生徒も駆使できるように、共有し練習する。その後、机間指導を通して、対話が継続・発展するようになったか見届け、価値付ける。

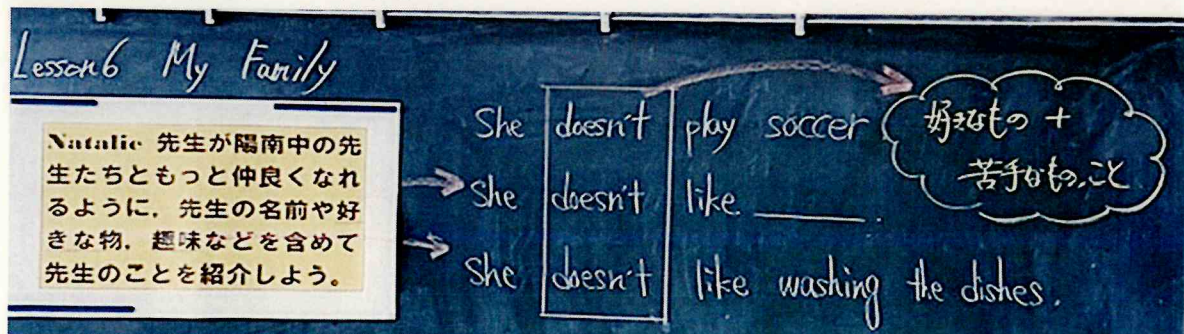


終末

【手立て③：ループリックを用いて自己評価を連続させる指導の在り方】

・本時を通して変容した表現や内容を振り返ることで、自己の成長を実感させる。そのための手立てとして、ループリックシートを用いている。いくつものチェックマークの中から、前時やそれ以前と比較しながら本時できるようになったことにチェックをさせる。上手くできたことやできなかったことを自覚させることで、次時への意欲化を図ることができるようになった。

<板書、生徒の作品、ノートなど>



1 本時のねらい

他人のことを詳しく伝えるために三人称単数現在形の否定文が有効であることに気付き、他人が日頃することや好きなことだけでなく好きではないことまで紹介することができる。

2 本時の展開 (6/8)

生徒の学習活動	評価規準・研究との関わり						
<p>1. 教師とのやり取りから、本時の対話活動の見通しをもち、課題を確認する。【目標を設定する】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ALT の先生が学校の先生達ともっと仲良くなれるように、先生の名前や好きなもの、趣味などを含めて、先生のことを紹介しよう。</p> </div>	<p>評価規準 三人称単数現在形の否定文を使って、他人のことを詳しく伝えることができる。 (対話の様子)</p>						
<p>2. ペアの仲間と課題に取り組む。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">A: This is Mr ○○. He is our math teacher.</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">B: OK. What sport does he like?</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A: He likes table tennis.</td> <td style="padding: 2px;">B: What is his hobby?</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A: He likes <i>shogi</i>.</td> <td></td> </tr> </table>	A: This is Mr ○○. He is our math teacher.	B: OK. What sport does he like?	A: He likes table tennis.	B: What is his hobby?	A: He likes <i>shogi</i> .		<p><やり取りの中で目的や場面、状況を捉えさせる導入の在り方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 では、ALT が学校職員と仲良くなるため(目的)学校職員について詳しく知らないALT を相手に 1 対 1 で(状況)学校職員のことを紹介する(場面)と設定する。生徒がそれらを捉えられるよう、まず ALT とのやり取りを聞かせ、生徒とのやり取りにつなげていく。 ・ 2 では、席を移動しながら複数回ペアで対話させる中で、職員の好きなものや趣味について対話できているかを机間巡視する。三人称単数現在形が使えていない生徒や対話が継続・発展していないペアを把握する。 ・ どの生徒も表現を確認できるように、板書した後、教師の後に続いて読ませる。
A: This is Mr ○○. He is our math teacher.	B: OK. What sport does he like?						
A: He likes table tennis.	B: What is his hobby?						
A: He likes <i>shogi</i> .							
<p>・ 一人の職員を例に全体で表現を確認しながら、さらに詳しく紹介するにはどうすればよいか考える。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">T: Who is this man?</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">S: He is Mr △△.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">T: (野球のイラストと○を見せて) What sport does he like?</td> <td style="padding: 2px;">S: He likes baseball.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">T: (剣道のイラストと×を見せて)</td> <td style="padding: 2px;">S: He don't like <i>kendo</i>.</td> </tr> </table>	T: Who is this man?	S: He is Mr △△.	T: (野球のイラストと○を見せて) What sport does he like?	S: He likes baseball.	T: (剣道のイラストと×を見せて)	S: He don't like <i>kendo</i> .	
T: Who is this man?	S: He is Mr △△.						
T: (野球のイラストと○を見せて) What sport does he like?	S: He likes baseball.						
T: (剣道のイラストと×を見せて)	S: He don't like <i>kendo</i> .						
<p>・ さらに詳しく紹介するための表現を教科書から見つけ出し、ワークシートに書く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">T: Read the nice sentence.</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">S: She doesn't play sports.</td> </tr> </table>	T: Read the nice sentence.	S: She doesn't play sports.					
T: Read the nice sentence.	S: She doesn't play sports.						
<p>3. 学んだ表現を用いて、もう 1 度課題に取り組む。【仲間と学び、仲間から学ぶ】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">A: This is Mr ○○. He is our math teacher.</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">B: What sport does he like?</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A: He likes table tennis, but he doesn't like volleyball.</td> <td style="padding: 2px;">B: He doesn't like volleyball.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A: And he likes <i>shogi</i>.</td> <td></td> </tr> </table>	A: This is Mr ○○. He is our math teacher.	B: What sport does he like?	A: He likes table tennis, but he doesn't like volleyball.	B: He doesn't like volleyball.	A: And he likes <i>shogi</i> .		<p><対話を継続・発展させるための段階的な指導の在り方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 では、生徒の表現を繰り返しながら机間指導し、聞き手としてのモデルを示す。接続詞 <i>but</i> や <i>and</i> を用いて詳しい紹介をしようとする生徒の姿を認め、他の生徒に広める。相手の発言を繰り返すことができている生徒を認めた上で、さらに質問できるよう促す。 ・ 2 で困り感をもった生徒が問題を解決できているかどうかを見届ける。三人称単数現在形が使えなかった生徒には教科書本文を見せながら指導する。対話が継続・発展せず自発的に仲間と相談していない生徒には、どんなことに困ったか聞き、近くの生徒と一緒に解決できるよう促す。 ・ 4 では、2 と同じイラストを生徒に見せて否定文を正しく話せるようになったかを確かめるとともに、本人の変容を自覚させる。 ・ 5 では、2 で三人称単数現在形やその否定文が使えなかった生徒を中心に見て回る。途中で一度対話を止め、話したかったが話せなかった表現がないか尋ね、可能な限り既習表現を使って言い換える。 <p><ループリックを用いて自己評価を連続させる指導の在り方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 では、本単元を通して使うループリックを見て、前時やそれ以前と比較しながらチェックマークを記入させる。上手くできたことやできなかったことを自覚させることで、次時への意欲化を図る。
A: This is Mr ○○. He is our math teacher.	B: What sport does he like?						
A: He likes table tennis, but he doesn't like volleyball.	B: He doesn't like volleyball.						
A: And he likes <i>shogi</i> .							
<p>4. 代表生徒と ALT のやり取りや教師の説明を聞いて、三人称単数現在形の否定文の語順や意味を確認する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">ALT: Who is this man?</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">S: This is Mr ○○. He is our math teacher. He likes table tennis, but he doesn't like volleyball.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ALT: Oh, he likes table tennis. Does he play it?</td> <td style="padding: 2px;">S: Yes, he does. He plays it well.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ALT: Oh, really? I want to play with him someday. Does he speak English?</td> <td style="padding: 2px;">S: Mm...I don't know.</td> </tr> </table>	ALT: Who is this man?	S: This is Mr ○○. He is our math teacher. He likes table tennis, but he doesn't like volleyball.	ALT: Oh, he likes table tennis. Does he play it?	S: Yes, he does. He plays it well.	ALT: Oh, really? I want to play with him someday. Does he speak English?	S: Mm...I don't know.	
ALT: Who is this man?	S: This is Mr ○○. He is our math teacher. He likes table tennis, but he doesn't like volleyball.						
ALT: Oh, he likes table tennis. Does he play it?	S: Yes, he does. He plays it well.						
ALT: Oh, really? I want to play with him someday. Does he speak English?	S: Mm...I don't know.						
<p>5. 紹介する職員を変えて課題に取り組む。</p>							
<p>6. ループリックをもとに、本時の学習を振り返る。【自己を振り返る】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>ALT の先生と話すのは緊張したけど、何とか学校の先生達のことを教えてあげようと思って、メモを見ながら紹介することができた。先生のことを詳しく説明するために、否定文も使うことができた。don't ではなく doesn't となることを注意したい。</p> </div>							

評価の観点	外国語表現の能力	単元	Lesson6 My Dream (2年生)	実践日時	R1 年度
本時のねらい	相手の情報や自分の知っていることをもとに、不定詞の名詞用法を用いて、自分の考えを伝えることができる。				

<主体的・対話的で深い学びにつながる指導について>

導入

【手立て①：やり取りの中で目的や場面、状況を捉えさせる導入】

- ALTの妹が、将来日本で働きたいという気持ちをもっているが迷っているということをALTとJTEのやり取りでつかませるために、ALTの妹の写真を貼ったり、妹の情報をJTEが質問し、板書に位置付けたりした。また、実際に課題のモデルの姿を生徒に示すことで、本時の流れの見通しをもたせることができた。

展開

【手立て②：対話を継続・発展させるための段階的な指導の在り方】

- ペアで課題に取り組んだ後、ALTの妹にぴったりの職業を選択できたかどうかを問い、決められた生徒には、決め手を聞き、決められなかった生徒には、決められなかった理由を聞いた。そして、決められなかった生徒が決められるようには、どんな情報が必要か全体で交流した。その結果、最初、生徒たちは、自分の意見を伝えるだけに終わっていたが、相手の意見を聞き、それに対して、賛成の意見や反対の意見を伝えるようになり、よりよい選択を相談しながら決めることができた。また、よい点だけでなく、悪い点にも目を向け、理由を話す生徒も増えた。



終末

【手立て③：表現や内容の変容を実感できる評価のために】

- 最後には、ALTの妹に合う職業と、その職業を選んだ理由を英語で記入させた。最初に選んだ職業や理由と最後に書いたものを比較させることで、なぜそのように変容したのかにも気付かせるようにした。多くの生徒は、話したことで、自分の考えの変容や、理由を深めていくことができた。

I think that singer is the best job for her. If she become a popular singer, she can make friends all over the world and she can learn different cultures from them. Singing songs give power to everyone.

<板書、生徒の作品、ノートなど>

トミニク先生の妹は、将来日本に来て働きたいと考えています。彼女にはたくさん夢があり、将来の職業選びに困っています。彼女にどんな職業を進めるべきか相談しよう。

What is a good job for her?

Expressions

~ So, ~
（さあ）

□ can help
（助ける）

□ is the best!

I agree with you
（賛成）

I don't agree with you
（反対）
(disagree)

<p>Dominic's sister</p> <p>Name: Jacors</p> <p>Age: 17 years old</p> <p>Strong point: Funny, Relaxed</p> <p>Weak point: Shy</p> <p>Favourite subject: P.E(Dance)</p> <p>Science</p> <p>Interest: She is interested in dancing, She is interested in animals, She is interested in different cultures and music.</p> <p>Like: She likes listening to music, She likes playing with her friends, She likes talking and singing.</p> <p>Wants to do in the future: She wants to study abroad, She wants to meet many people from around the world, She wants to help people.</p>	<p>Why?</p> <p>Singer: She likes music and dancing.</p> <p>Doctor: Singing songs can help people.</p> <p>Teacher (P.E, Science): She can get a lot of money.</p> <p>Dancer: Many people need help.</p> <p>Her favorite subject is P.E.</p>	<p>Weak Point</p> <p>Strong Point</p>
--	--	---------------------------------------

1 本時のねらい

相手の情報や自分の知っていることをもとに、不定詞の名詞用法を用いて、自分の考えを伝えることができる。

2 本時の展開 (3 / 11)

生徒の学習活動	評価規準・研究との関わり						
<p>1. Oral Interactive Introduction から本時の課題をつかむ。【目標を設定する】</p> <p>ALT: Mr Miyagawa, I have something to ask you. I have a sister. She wants to live in Japan in the future. But, she has many dreams. She can't choose her job, so what is the best job for her?</p> <p>JTE: Well, what does she like?</p> <p>ALT: She likes teaching.</p> <p>JTE: What do you think the best job for her?</p> <p>S: ALT is a good job because Dominic is an ALT.</p> <p>JTE: What job is good for her? Today, let's think about a good job for her with your partner.</p>	<p>評価規準</p> <p>相手の情報や自分の知っていることをもとに、不定詞の名詞用法を用いて、自分の考えを伝えることができる。(対話の様子・ワークシート)</p>						
<p>・ペアで話題について話してみる。</p> <p>・全体で交流する。</p> <p>2. 課題を確認する。</p> <p>Today's aim</p> <p>ALT の先生の妹は、将来日本に来て働きたいと考えています。彼女にはたくさんの夢があり、将来の職業選びに困っています。彼女にどんな職業を進めるべきか相談しよう。</p>	<p>＜やり取りの中で目的や場面、状況を捉えさせる導入の在り方＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1では、対話の目的や場面、状況を ALT と教師とのやり取りから生徒へと広めていくことで本時の課題を捉えさせる。また、写真を見せながら話すことで視覚的にも理解しやすいようにする。 						
<p>3. ペアで課題に取り組む。【仲間と学び、仲間から学ぶ】</p> <p>・ALT の妹のプロフィールの情報を読み、どんな職業がよいのか考え、ペアで会話をする。</p> <table border="1" data-bbox="103 1131 981 1433"> <tr> <td data-bbox="103 1131 534 1220">S1 : What is a good job for her? What do you think?</td> <td data-bbox="534 1131 981 1310">S2 : An interpreter is a good job for her because she can speak English and she studies Japanese now. How about you?</td> </tr> <tr> <td data-bbox="103 1220 534 1377">S1 : A doctor is a good job for her because she wants to help people. What do you think about my idea?</td> <td data-bbox="534 1310 981 1433">S2 : Your idea is good, but she wants to teach something. So ALT is the best!</td> </tr> </table>	S1 : What is a good job for her? What do you think?	S2 : An interpreter is a good job for her because she can speak English and she studies Japanese now. How about you?	S1 : A doctor is a good job for her because she wants to help people. What do you think about my idea?	S2 : Your idea is good, but she wants to teach something. So ALT is the best!	<p>＜対話を継続・発展させるための段階的な指導の在り方＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3では、まず ALT の妹の情報をもとに、ペアで課題に取り組む。その後、生徒がもっともよいものを選択できたかどうかを聞き、決めきれない生徒に、なぜ決められなかったのか理由を聞く。そして、決めきるためにはどんな情報が必要か考えさせる。 ・必要に応じて、中間評価を取り入れ、よりよい表現についてのアドバイスを与える。 		
S1 : What is a good job for her? What do you think?	S2 : An interpreter is a good job for her because she can speak English and she studies Japanese now. How about you?						
S1 : A doctor is a good job for her because she wants to help people. What do you think about my idea?	S2 : Your idea is good, but she wants to teach something. So ALT is the best!						
<p>・全体場で提案ができたか確認する。</p> <p>4. もう一度課題に取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="103 1545 981 1971"> <tr> <td data-bbox="103 1545 534 1635">S1 : What is a good job for her? What do you think?</td> <td data-bbox="534 1545 981 1724">S2 : An interpreter is a good job for her because she can speak English and she studies Japanese now. How about you?</td> </tr> <tr> <td data-bbox="103 1635 534 1792">S1 : A doctor is a good job for her because she wants to help people. What do you think about my idea?</td> <td data-bbox="534 1724 981 1859">S2 : Your idea is good, but she wants to teach something. So ALT is the best!</td> </tr> <tr> <td data-bbox="103 1792 534 1971">S1 : Sounds good. Doctors can teach students and other doctors. So a doctor is good for her.</td> <td data-bbox="534 1859 981 1971">S2 : I agree with you.</td> </tr> </table>	S1 : What is a good job for her? What do you think?	S2 : An interpreter is a good job for her because she can speak English and she studies Japanese now. How about you?	S1 : A doctor is a good job for her because she wants to help people. What do you think about my idea?	S2 : Your idea is good, but she wants to teach something. So ALT is the best!	S1 : Sounds good. Doctors can teach students and other doctors. So a doctor is good for her.	S2 : I agree with you.	<ul style="list-style-type: none"> ・4では、3の全体の交流をもとに自分の知っている情報や、相手の納得のいく情報を付け加えて対話することができるように、大切にしたいポイントを黒板に位置付ける。 ・5では、プロフィールと仲間の意見をもとに、ALT の妹に合う職業とその理由を一緒に記入する。 ・本時の課題を達成している生徒2名を指名し、全体場で発表させる。
S1 : What is a good job for her? What do you think?	S2 : An interpreter is a good job for her because she can speak English and she studies Japanese now. How about you?						
S1 : A doctor is a good job for her because she wants to help people. What do you think about my idea?	S2 : Your idea is good, but she wants to teach something. So ALT is the best!						
S1 : Sounds good. Doctors can teach students and other doctors. So a doctor is good for her.	S2 : I agree with you.						
<p>5. ルーブリックをもとに、本時の学習を振り返る。【自己を振り返る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終的に、ALT の妹にとってよいと思う職業と理由を書く。 ・評価の観点をもとに自分の様子を振り返る。 ・教師からのフィードバックを聞く。 	<p>＜ルーブリックを用いて自己評価を連続させる指導の在り方＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックを用いて、自分ができようになったことを振り返る。 						

評価の観点	外国語表現の能力	単元	Lesson6 I Have a Dream (3年生)	実践日時	R1年度
本時のねらい	「～している」、「～された」と人やものを説明する分詞の後置修飾の用法が分かり、写真について自分の考えを交えて、説明することができる。				

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

導入

【手立て①：既習事項とつなげて表現するための指導の工夫】

- 教科書の挿絵（写真）を提示し、「What can you see?」と問いかけて、写真から分かることを自由に交流した。生徒は、「男の人が2人」「水飲み場」「FOR COLORED ONLY」と、写真をよく見ながら分かることを見つけた。さらに、どのように伝えるとよいかと疑問をもつことで、教科書で学ぶ言語材料の有用性に気付くことができるようにした。

展開

【手立て②：対話を継続・発展させるための段階的な指導の在り方】

- 教科書で学んだ新出の言語材料をもとに、より適切に伝える姿を目指した。どのように伝えられるかを生徒とともに考えたり、板書に記して確認したりすることで、過去分詞や現在分詞を用いることの有用性に気付くことができるようにした。また、ALTとJTEのやりとりにおいて、ALTに「What do you think about it?」と問いかけ、ALTの考えを示した後で、生徒に問いかけることで、自分はどのように考えるか、自分の考えを付け加えて話す姿を目指した。さらに、全体交流の場面を設定し、様々な伝え方を交流することで、生徒は仲間の表現を参考にしながら、少しずつ自分が伝えたいことを表現することができた。

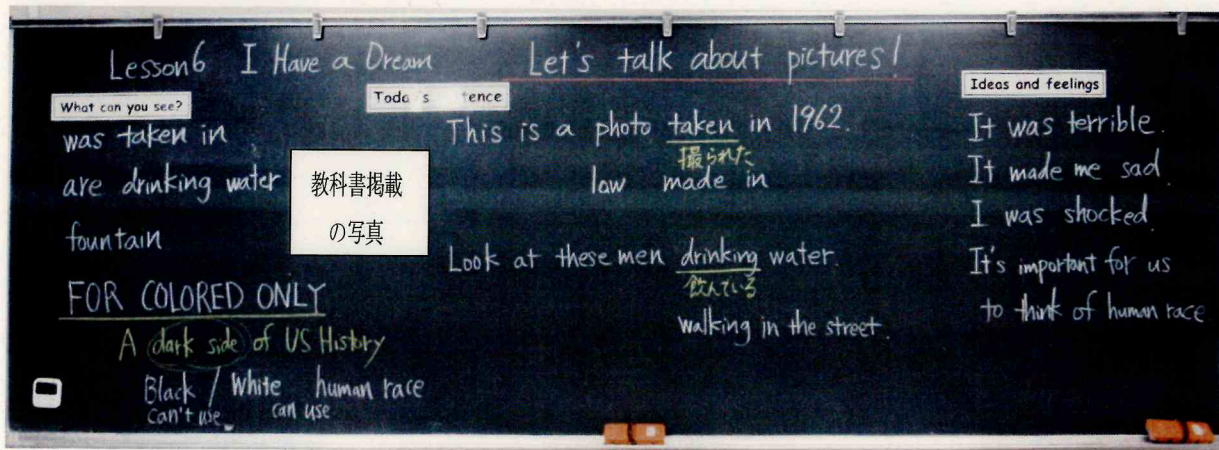
終末

【手立て③：表現の変容を実感できる評価のために】



- 本時の学習の終末では、本時学んだことをもとに、人種差別に関わることを示す写真を4つ準備し、写真から分かることや自分の考えを伝えるようにした。「～に撮られた写真だ。」などと、本時学んだ言語材料を用いながら伝え、人種差別が様々な状況において存在していたことについても、理解を深めることができた。

<板書、生徒の作品、ノートなど>



1 本時のねらい

「～している」、「～された」と人やものを説明する分詞の後置修飾の用法が分かり、写真について自分の考えを交えて、説明することができる。

2 本時の展開 (2/12)

生徒の学習活動	評価規準・研究との関わり
<p>1. 課題を確認する。</p> <div data-bbox="108 392 938 488" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Today's aim Let's talk about pictures!</p> </div> <p>2. 教科書 P. 70 の写真についてペアに説明する。</p> <div data-bbox="108 548 938 705" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>I can see two men. They are drinking water. I can see "FOR COLORED ONLY", but I don't know the meaning. This picture was taken in 1962 in America. So it was taken about 60 years ago.</p> </div> <p>3. 教科書から表現を学ぶ。</p> <div data-bbox="108 772 938 1377" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1 : 「撮られた写真」は, a photo taken in 1962 と表現することができるんだな。 S2 : these men drinking water と, 「水を飲んでいる男の人たち」と説明しているね。 JTE : This picture is about...what? S3 : "A dark side of US History". S4 : "FOR COLORED ONLY". JTE : "COLORED", do you know the meaning? S5 : Mm... JTE : Look at this! S6 : "WHITE"とも書いてある。白人と黒人の水飲み場は, 人種差別によって分けられていたんだな。 JTE : What do you think about it? ALT : My grandmother said it was terrible. I was shocked. JTE : Me too. I'm sad to hear that. What do you think about it? S7 : It was bad for us.</p> </div>	<div data-bbox="965 358 1460 593" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 「～している」、「～された」と人やものを説明する分詞の後置修飾の用法が分かり、写真について自分の考えを交えて、説明することができる。 (対話の様子)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2では, 写真の内容についてペアで交流した後全体で確認することによって, 多様な意見を出し合い, 本時扱う内容を捉えさせる。 ・ 生徒が用いた表現を共有し, 板書しておくことで, 教科書で学ぶ表現の有効性に気付かせるようにする。 <p><対話を継続・発展させるための段階的な指導の在り方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3では, 教科書で「撮られた写真」「水を飲んでいる男の人たち」と, 後置修飾の用法に着目させ, 2のやり取りで生徒が用いた表現と比較することで, 後置修飾を用いる有効性に気付かせるようにする。 ・ “a dark side” “FOR COLORED ONLY”に着目させるとともに, “What do you think about it?”と問うことで自分はどうか考えるか, 考えをもって読み進める姿を目指す。 ・ 4では 2と同じ写真を用いて対話活動に取り組み, 教科書で学んだことを用いながら, 自分の考えを交えて伝える姿を目指す。2での対話活動からの生徒の伸びを広める。 ・ 自分で考えることが難しい生徒には, 考えや気持ちを伝える表現を思い出させたり, 教科書を見返して意見をもたせたりする。 ・ 5では, 本時学んだことや既習表現を豊かに用いて, 事実と自分の考えを伝える生徒のよさを広める。
<p>4. 学んだ表現を用いて, 教科書 P. 70 の写真についてもう一度ペアに説明する。</p> <div data-bbox="108 1467 938 1624" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>This is a photo taken in 1962. It shows a dark side of US History from these words, "FOR COLORED ONLY". This means black people only use it. They don't drink other side. I felt sad. I want to know more.</p> </div> <p>5. 提示された写真から 1 枚選んで, 写真から分かる事実と自分の考えについてペアに説明する。</p> <div data-bbox="108 1702 938 1892" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>This is a photo taken in 1945 in Hiroshima. This is an airplane dropping the Atomic bomb. This picture makes us sad because the bomb was dropped by America and destroyed Hiroshima city. Many people died. It must never happen again.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ “What do you think about it?”と問うことで自分はどうか考えるか, 考えをもって読み進める姿を目指す。 ・ 4では 2と同じ写真を用いて対話活動に取り組み, 教科書で学んだことを用いながら, 自分の考えを交えて伝える姿を目指す。2での対話活動からの生徒の伸びを広める。 ・ 自分で考えることが難しい生徒には, 考えや気持ちを伝える表現を思い出させたり, 教科書を見返して意見をもたせたりする。 ・ 5では, 本時学んだことや既習表現を豊かに用いて, 事実と自分の考えを伝える生徒のよさを広める。 <p><ループリックを用いて自己評価を連続させる指導の在り方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ループリックを用いて, 本時できたことや, 表現したかったけどできなかったことを振り返り, 次時につなげる。
<p>6. ループリックをもとに, 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間の姿をもとに, 自分の学びを振り返る。 ・ 次時の課題をもつ。 	

評価の観点	外国語表現の能力	単元	Lesson5 Places to Go, Things to Do	実践日時	R2. 11. 26
-------	----------	----	------------------------------------	------	------------

本時のねらい おすすめの国を紹介する活動を通して、相手の賛同を得るために、関係代名詞などを使って聞き手が分かりやすい表現に言い換えて話すことができる。

＜主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について＞

【手立て①：自分の考えをつなぎ、表現を問いつけるための

Oral Interactive Introduction and Show model】

・本時では、「自分が作った卒業旅行プランの魅力を相手に伝えよう」という課題を設定した。生徒たちは、その場所の魅力を一生懸命に英語で伝えるが、それが一方的な意見とならないように、「Do you like〜?」など、相手の意見を取り入れ、相手の考えに自分の考えをつなぎながら対話活動ができるように意識させた。また課題を達成するために、電子黒板を使ってモデルを示したり、生徒とのやり取りの中で具体的な方法を示したりする中で、本時のねらいの姿をイメージできるようにした。



【手立て②：自分の成長を実感するための評価の工夫】

・Presentation activity の後に、生徒が紹介した発表内容をクイズ形式にして日本語で質問させた。その質問に対して仲間が答えられなかった所を、聞き手が分かりづらかった英文と判断し、どうしたら仲間に伝えられるのか、別の表現を再構築させた。また、最後に本時の最初のペアと交流させたり、iPad で撮影した発表の様子と、最初に撮影した発表の様子を比較させたりすることで、本時の伸びを実感させるように評価の工夫をした。

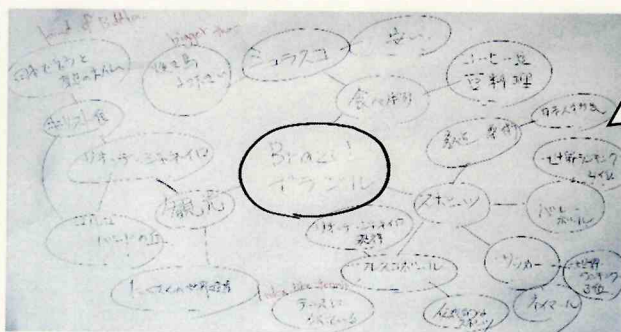


【手立て③：深い学びにするために】

・Sharing Time では、聞き手が分かりづらい表現を looks like, a kind of など、別の表現を使って話している生徒を抽出して全体の前で発表させることで、相手の賛同を得るためには、より分かりやすく相手に伝えることが大切だということを共通理解させた。また、B の生徒を A へ到達させる指導として、比較級、最上級、関係代名詞を使って表現している生徒に発表させたり、その内容を板書に位置付けたりすることで、より高い目標をもって活動に向かえるようにした。



＜板書、生徒の作品、ノートなど＞



左の図のように、相手の意見や考えに応じて、即興で英文を考えられるようにマッピングを使って活動できるようにした。また、マッピングには、【手立て②】で聞き手が分かりづらかった所を再構築させた英文や、【手立て③】でより分かりやすくするために用いた別の表現などを記入させて活動に取り組みさせた。

第3学年 英語科学習指導案

本時の展開 11 / 13	単元名 : Lesson5 Places to Go, Things to Do
<p>【本時のねらい】</p> <p>おすすめの国を紹介する活動を通して、相手の賛同を得るために、関係代名詞などを使って聞き手が分かりやすい表現に言い換えて話すことができる。</p>	
場	学習活動
<p>①Pre activity (Small Talk)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つのテーマに対して英語で会話する。 <p>②Oral Interactive Introduction and show model</p> <p>③Today's aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分が作った『卒業旅行プラン』の魅力を仲間に伝えよう </div> <p>④Practice Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめする国の魅力が分かる画像を見せながら、仲間にプレゼンテーションする練習をする。(iPad を使ってペアで交互に撮影する) <p>⑤Presentation activity1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス形式でペア交流をしていく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>P1: Hello. I'm going to introduce a travel plan of Brazil. Do you like sports? Oh, you like sports. Brazil is famous for its sports. For example, soccer, volleyball, and frescoball. So you can see many kinds of sports in Brazil.</p> <p>P2: What is frescoball?</p> <p>P1: It's a sport.</p> <p>P1: Second, do you want to eat delicious food? Churrasco is the most famous food in Brazil. It is very delicious.</p> <p>P2: Sorry. I have never heard it.</p> <p>P1: Oh, try to eat. It is delicious. I'm sure, you can enjoy Brazil.</p> <p>P2: I think it is good your plan.</p> </div> <p>⑥Sharing Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞や kind of などを使うことで、より分かりやすく、具体的に伝えられることを確認する。 <p>⑦Presentation activity2</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>P2: What is frescoball?</p> <p>P1: <u>Frescoball is a traditional sport that looks like tennis.</u> Look at this. It is frescoball. Many people in Brazil play it at the beach. It is popular sport in Brazil.</p> <p>P2: I really understand frescoball. I want to play it.</p> <p>P1: Second, do you want to eat delicious food? Churrasco is the most famous food in Brazil. It is very delicious.</p> <p>P2: Sorry. I have never heard of it.</p> <p>P1: Ok. <u>Churrasco is a meat that is a kind of Japanese yakitori.</u> It's 8 real, about 300yen. so it's very cheap and delicious.</p> <p>P2: I like yakitori. I want to eat some.</p> <p>P1: I really want to go to Brazil.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・Sharing Time で確認したことを意識してもう一度活動に取り組む。 <p>⑧Today's evaluation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後に本時の最初のペアと交流することで本時の伸びを再確認する。(iPad を使ってペアで交互に撮影する) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分がおすすめするポイントや、相手が分かりづらいものを説明する時に、関係代名詞や look like, kind of, 比較級などを使うことで、より相手にその魅力が伝わり、相手の賛同を得ることができた。 </div>	<p>深い学びに迫るための指導の手立て</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準【外国語表現の能力】</p> <p>おすすめの国を紹介する活動を通して、相手の賛同を得るために聞き手の分かりづらいところは関係代名詞などを使い別の表現を使って話すことができる。(対話の様子、動画)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎相手の賛同を得られるために、相手の好みと自分の考えをつなぐことができるよう、Do you like~? と尋ねるところから対話を始める模範を示す。 ・生徒が事前に作成したマッピングを用いて、仲間のおすすめの国を紹介することができるか机列表を用いて机間巡視し確認する。 ・全体の活動の様子を見ていて、上手く表現できなかった所や、つまづいている場所を全体で共有し交流する。 ・関係代名詞を使ってより詳しく話せるように、すぐに英文が作れるような学習プリントを用意しておく。 ◎関係代名詞や a kind of などを使用した仲間の発表や、教師の話から自分ならどう言い換えるかを考えさせる。 ・Sharing Time 後にも本時のねらいに近づけていない生徒がいた場合は、前時までの学習プリントや、帯活動で用いていた補助プリントを確認して考えるように指導する。 ・本時のねらいに近づけたかどうかを iPad で撮影した動画を比較させることで、本時の伸びを実感させる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><Bへ到達させるための手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Sharing Time の時間に本時のねらいに近づいている生徒を全体で提示することで、目指す姿を具体的にイメージさせる。 ・前時までに学習したプリントを確認させたり、表現が広がる英文が書かれた補助プリントを用意したりして、本時のねらいに近づけるようにする。 </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><Aへ到達させるための手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bの生徒の話す内容に対して、□What's this in Japan? ”や □Is it bigger than ? ”など質問したり、言い換えたりして、表現の再構築を促す。 </div>

評価の観点	外国語表現の能力	単元	Lesson8 School Life in the USA	実践日時	R3. 1. 18
-------	----------	----	--------------------------------	------	-----------

本時のねらい ポールのアメリカの学校生活についての話を聞き取り、現在進行形の使い方を理解し、学校生活について現在進行形の肯定文を用いて話す技能を身に付けることができる。

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

【手立て①：言語活動に主体的に臨めるようにするための Oral Interactive Introduction】

・「学校のHPのアクセス数を増やすために、学校生活のよさを世界に発信する」という単元を貫く課題を常に意識させ、その終末の課題に向けて、本時どんな力を身に付けるのか、イメージできるようにする。ALTとの会話を聞き、前時までの表現との違いに気付くようにすることで、表現をインプットすると共に、言語活動の姿を理解させる。終末の活動に向けて、「表現できるようになりたい。」という意識を生むことで、本時の活動に主体的に臨めるようにする。



【手立て②：仲間との対話的な学びと自分の成長の実感を生むペア活動】

・ペア活動(Challenge 1)を通して表現をアウトプットすることで、知識の定着を図る。ペアが発したことに對し、反応と共にリポートをさせることで、自分の表現が伝わったという実感をもたせたり、自分のミスに気付かせたりする。プリントの裏面を使えば生徒同士で教え合いができるようにし、全生徒が本時の表現を身につけられるようにする。制限時間の中でいくつかの写真について現在進行形を用いて表現できたかをハンドサインで示させることで、自分の伸びを実感できるようにする。



【手立て③：深い学びにするために】

・Sharing Timeでは、A～Bの生徒に全員の前で写真について説明させ、正しい表現を全体で共通理解する。主語が変わったり、動詞句が変わったりしてもミスなく素早く話せるように、考えを全体で共有し、更に技能を高める。ALTが前で手本となる姿を示した後再度ペア活動(Challenge 2)に臨ませることで、目標をもって活動に向かえるようにする。



<板書、生徒の作品、ノートなど>



・左の写真のように、生徒の写真を使うことで、自分のこととして、活動に意欲的に取り組めるようにした。

誰が	何をする
主語 + be 動詞 + 一般動詞-ing 形	
am are is	study eat clean practice

第1学年 英語科学習指導案

本時の展開 2 / 11

単元名 : Lesson 8 School Life in the USA

【本時のねらい】

ポールのアメリカの学校生活についての話を聞き取り、現在進行形の使い方を理解し、学校生活について現在進行形の肯定文を用いて話す技能を身に付けることができる。

【知識・技能】

学習活動

深い学びに迫る手立て

1. Oral Interactive Introduction から本時の課題をつかむ。

ALT : Look at this picture. This is a school life in the USA.
The students are going to school. They are taking a school bus. We can use a bus to go to school. We can't use a bicycle.
JTE : Wow. You can use a bus ! Can you use a bus to go to school?
Student : No, I can't.
ALT : Wow. Look at this picture. It is a picture of your school, right ? What are you doing ?
Student : We go to school ... ? We are go to school ... ?

・ALT のアメリカの学校生活の様子を聞いたり、質問に答えたりする中で、学校生活の写真について伝える表現をインプットする。

2. 課題を確認する。

Today's aim

写真を使って、日本の学校の様子について伝えよう！

3. Text Input

- 教科書 P. 100 を読み、プリントに載っている4枚の写真や絵を説明している文を本文から抜き出す。
- 写真の様子について伝える表現や、現在進行形の用法について確認をする。

・現在進行形は「(今) ~しています」と、現在動作の最中だということを表す時に使う。写真の中の人物の動作について伝える時も使う。

4. Challenge 1

- ワークシートにある学校生活の写真(休み時間、授業中、給食、掃除)を使って、ペアに学校生活の様子について伝える。

S1 : Look at this picture. In this picture, the students are having school lunch.

- ペアが発したことに對し、反応と共に、リピートする。相手の be 動詞が抜けている等のミスに気付いた時は、それを直してリピートする。

5. Sharing Time

- 4で話したことを基に、テレビ上に映し出される写真を見て、生徒が発表をする。
- 写真を説明する現在進行形の文が他にもないか交流したり、写真を見て、より素早く表現できるようにしたりする。

S1 : Look at this picture. The students are having school lunch.

T : Anything else ?

ALT : What is ○○ doing ?

S1 : ○○ is eating bread.

S2 : □□ is drinking milk.

T : Good.

6. Challenge 2

- もう一度課題に取り組む。4では無かった写真も加え、練習する。

S1 : Look at this picture. The students are studying. ○○ is writing.

7. 本時の学習を振り返る。

- 4や6での学習を基に、テレビに映し出される写真について、現在進行形を使い、1人ずつ、全員が写真について説明をする。
- 話した内容について、書いてまとめる。

評価規準

学校生活について、現在進行形を用いて話すことができる。

(対話の様子、ワークシート)

- 1では、単元オリエンテーション時に用いた写真を提示し、単元を貫く課題「学校のHPのアクセス数を増やすために、学校生活のよさを世界に発信する」を想起させ、本時の言語活動に対して主体的に臨めるようにする。

- 3では、今までの動詞の形や文の形と違うことに気付かせる。

- 4では、ペアを1回ずつ変え、相手に4場面の写真をランダムに指示させ、現在進行形を使って写真を説明することに慣れさせる。

- 5では、4の活動中の良かった姿を交流し、Challenge 2でその姿が広がるように促す。

- ◎B~Aの生徒を意図的に指名し、写真について、他にも現在進行形を用いて表現できないか考えさせる。写っている個人に焦点を当てるように声かけをすることで考えや表現の再構築を促す。

- 6では、ペアを変えて交流し、新たな写真について説明することを通し、現在進行形を使って表現することに慣れたり、既習事項を使って表現の幅を伸ばしたりできるようにする。

- 4と6では、話せた写真の数をハンドサインで示させ、生徒の伸びを確認する。

<Bへ到達させるための手立て>

- 現在進行形の文に多く触れることで、現在進行形の使い方や、自分が表現する文を具体的にイメージできるようにする。
- 4では、机間指導の中でワークシートの裏面を指し示し、現在進行形に必要な語を想起できるようにする。
- 5の中で、仲間の表現を聞き、写真について伝えるための表現をイメージできるようにする。また、AやBの生徒の後にCの生徒を指名し、正しい表現を繰り返し言う中で身に付くようにする。

<Aへ到達させるための手立て>

- 5の交流でBやAの生徒を当て、写真の内容について、他にも現在進行形を用いて伝えることができないか考え、交流できるようにする。
- 主語が変わる写真も入れ、正しく言えるかどうか確認をする。
- ALTにテンポ良く話をさせ、聞かせることで、活動の手本を示す。

評価の観点	知識・技能	単元	Lesson3 My Future Job	実践日時	R3.7.16
-------	-------	----	-----------------------	------	---------

朝美が職場体験で学んだことをまとめたレポートを読み取る活動を通して、AI 本時のねらいによる翻訳は得意な部分と、苦手な部分があり、完璧ではないことに気づき、AI 翻訳のよさや難しさについて理解することができる。

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

【手立て①：目的・場面・状況を意識した活動の工夫】

・ Oral Interactive Introduction を通して JTE とやり取りをしたり、電子黒板を使って絵や図を示したりすることで、生徒たちが日ごろ使っている、“AI 翻訳”が万能であるかどうかを考えさせた。このように目的、場面、状況を理解させた上で「Can AI do everything?」という課題提示をすることで、本時の読み取る活動に向かう生徒の意欲、課題意識を高められるようにした。



【手立て②：段階的な指導過程を踏み、基礎的・基本的な力をつける指導の工夫】

・ 文章の概要を捉えるために、1~5 まで STEP を作り、生徒の困り感が少なくなるような指導の工夫をした。キーワードとなる単語を探したり、長文を細かく段落に分け、与えられたタイトルとマッチングをしたりすることで、どの生徒も必要な情報を読み取れるような工夫をした。また読み取った内容を英語でまとめたり、Q and A に取り組ませたりするなど発展的な活動も STEP が上がるにつれて取り組める工夫をした。

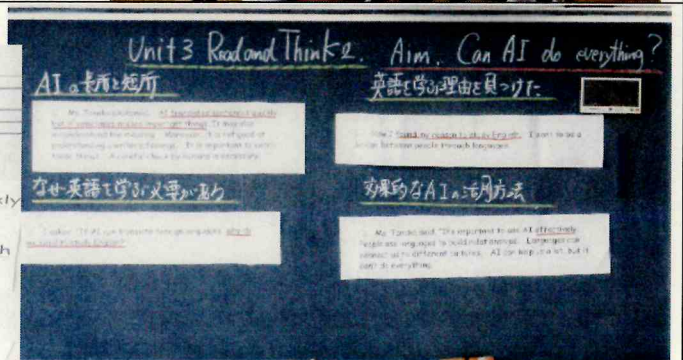
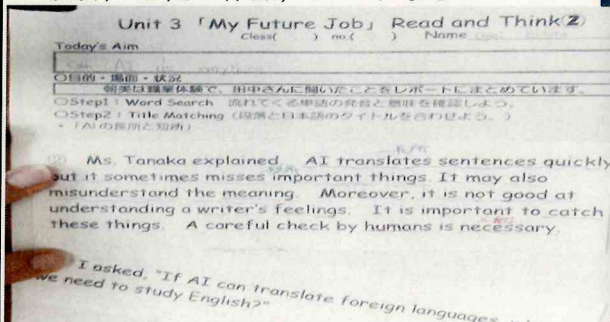


【手立て③：深い学びにするために】

・ 本時の学習を振り返る活動では、AI の長所と短所について書かれている英文に線を引き、ペア同士で確認したり、課題に対する自分の意見を交流したりすることで、本時の内容を理解したかを確認した。また、B の生徒を A へ到達させる指導として、A に近づいている生徒を意図的に指名し、その姿を価値付け、全体で共有した。



<板書、生徒の作品、ノートなど>



第2学年 英語科学習指導案

本時の展開 11 / 13	単元名 : Lesson3 My Future Job
<p>【本時のねらい】</p> <p>朝美が職場体験で学んだことをまとめたレポートを読み取る活動を通して、AIによる翻訳は長所と短所があり、完璧ではないことに気づき、AI翻訳のよさや難しさについて理解することができる。</p>	
場	学習活動
<p>1. Teacher's Talk から本時の学習内容をつかむ。</p> <p>JTE : If AI can translate foreign languages, why do we need to study? What do you think?</p> <p>STD : We need to study English to communicate with foreigners.</p> <p>STD : To pass the exam for a high school.</p> <p>JTE : You know AI can translate foreign languages like Google translation, Yahoo translation. Is AI's translation perfect? Can AI do everything? Let's think about AI's good points and bad points.</p> <ul style="list-style-type: none"> • JTE とのやり取りを通して、本時の学習内容や課題をつかむ。 • 本時の目的・場面・状況を確認する。 <p>朝美は、職業体験で田中さんに聞いたことをレポートにまとめました。</p> <p>2. 課題を確認する。</p> <p style="text-align: center;">Can AI do everything?</p> <p>3. 朝美のレポートの理解に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> • STEP1 : Word Search に取り組み、本文中から日本語に合う英単語を探す活動を通して、本文のキーワードとなる単語をつかむ。 • STEP2 : Get the Gist に取り組み、各段落の適切なタイトルを見つける活動を通して、各段落の概要をつかむ。 • STEP3 : Focus on the Details に取り組み、AI の長所と短所についてまとめた表を完成させることを通して、AI の長所と短所を理解する。 • STEP4 : AI についてまとめられた日本のメモを、本文の内容と照らし合わせて、どれが正しいか考え、AI の長所と短所について理解しているか確認する。 • STEP5 : AI 翻訳を使う上で大切なことは何かを考える。 • 新出文法に関わる動画を見る。 <p>4. 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AI の長所と短所について書かれている英文に線を引く。 • ペアでどこに線を引いたか確認する。 <p>AI 翻訳を使うことで、自分の分からない表現をすぐに調べることができる。しかし、重要どころでミスをしたり、書き手の感情を理解したりすることはできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AI 翻訳を使う上で大切なことについて自分の意見を書く。 <p>AI 翻訳機能の長所と短所を理解したうえで、効果的に使うことが大切だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自分の意見を英語で書く。 <p>AI has good points and bad points. It is important to use AI effectively.</p>	<p>深い学びに迫るための指導の手立て</p> <p>評価規準</p> <p>朝美が職場体験で学んだことをまとめたレポートを読み取る活動を通して、AI翻訳は長所と、短所があり、完璧ではないことに気づき、AI翻訳のよさや難しさについて理解することができる。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1では、JTE と生徒のやり取りから、目ごろ使っている、AI翻訳が万能であるかどうか考えさせ、本時の読み取る活動への意欲や、課題意識をもたせる。また、パワーポイントを利用した説明をすることで、どの生徒にも内容が理解できるようにする。 • 本文から単語を探すことが難しい生徒には、電子黒板の単語を見るように促したり、プリントの何行目を見と良いか、声をかけたりする。 • STEP2,3で立ち止まる生徒には以下の支援をする。 <ul style="list-style-type: none"> ①本文の和訳を渡す。(日本語のみ) ②解説をのせた英語本文を渡す。 ③ヒントが書かれた拡大してあるワークシートを見に行くように促す。 • STEP3で、どこを読めばよいか分からない生徒には、STEP2で分かったタイトルの内容に注目させ、どの段落に答えがあるか分かるように支援する。 • 4では、AIの長所と短所が理解できたか確認するために、英文を読み取り、本文に直接線を引かせ、ペアで合っているか確認させる。 • AI翻訳を使う上で大切なことを書かせることで、本時の内容を理解したかを確認する。 • 日本語で自分の意見を書いた生徒には、英語で書くように声をかける。